

**作成例**

特定非営利活動法人△○川流域保全グループ

○年度活動予算書  
設立から○年○月○日まで

2年目以降は、「○年○月○日から○年○月○日まで」と記載します。

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	75,000	
賛助会員受取会費	20,000	
.....受取会費	.....	95,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	150,000	
.....	.....	150,000
3. 受取助成金等		
受取地方公共団体助成金	200,000	
受取民間助成金	100,000	
.....	.....	300,000
4. 事業収益		
△○川流域文化を学ぶ講座事業収益	80,000	
.....事業収益	.....	80,000
5. その他収益		
受取利息	500	
雑収益	30,000	
.....	.....	30,500
<b>経常収益計</b>		<b>655,500</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	48,000	
法定福利費	408	
.....	.....	
<b>人件費計</b>	<b>48,408</b>	
(2) その他経費		
講師謝金	250,000	
消耗品費	61,000	
印刷費	50,000	
通信費	9,000	
保険料	6,000	
会場費	40,000	
会議費	0	
.....	.....	
<b>その他経費計</b>	<b>416,000</b>	
<b>事業費計</b>	<b>464,408</b>	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	12,000	
法定福利費	102	
.....	.....	
<b>人件費計</b>	<b>12,102</b>	
(2) その他経費		
講師謝金	0	
消耗品費	50,000	
印刷費	50,000	
通信費	0	
保険料	1,000	
会場費	0	
会議費	30,000	
.....	.....	
<b>その他経費計</b>	<b>131,000</b>	
<b>管理費計</b>	<b>143,102</b>	
<b>経常費用計</b>		<b>607,510</b>
当期正味財産増減額		47,990
設立時正味財産額		30,000
次期繰越正味財産額		77,990

該当する科目を  
選びましょう。

該当する科目を  
選びましょう。

2年目以降は、「前期繰越正味財産額」と記載します。

次期事業年度活動予算書の「前期繰越正味財産額」と金額が一致するはずですが。